

富山県新型インフルエンザ等対策実地訓練

○趣旨

新型インフルエンザ等の感染症に機動的かつ的確に対応できる体制の整備を図るため、病原性の高い新型インフルエンザ等の県内発生を想定し、関係機関間との連絡調整や感染症指定医療機関における患者受入れ対応を想定した実地訓練を実施。

本訓練は、令和元年度以来、5年ぶりの開催となる。

○日時 令和6年11月8日（金） 13:30～16:00

○場所 市立砺波総合病院（第二種感染症指定医療機関）

○訓練実施者 砺波厚生センター、市立砺波総合病院、砺波地域消防組合 計58名

○訓練見学者 検疫所、医療機関、市町村、各消防本部、厚生センター、
衛生研究所、IHEAT要員等 計57名

○訓練設定

- ・ A国で市中肺炎流行の報告があり、新型インフルエンザと判明する。
- ・ 国内では首都圏で第1例目の感染者が確認されたが、県内では未発生である。
- ・ A国帰国者がインフルエンザ様症状を呈し、かかりつけ医から厚生センターへの相談を勧められ新型インフルエンザ疑いと判断される。
- ・ 厚生センターからの要請を受け、市立砺波総合病院は患者の診察および入院受入れを実施する。

富山県新型インフルエンザ等対策実地訓練

○実施内容

①連絡体制、電話対応訓練

- ・患者から厚生センター内「発熱相談センター」へ電話相談
- ・厚生センターから病院・消防本部への連絡
- ・救急車による患者搬送訓練



②受診、診察及び検査訓練

- ・発熱外来に搬送
- ・患者の受診手続き、検体採取、レントゲン撮影、診察



③入院患者対応訓練

- ・感染症病棟における入院患者の受入
- ※見学者は講堂で視聴



④防護服着脱訓練

- ・訓練見学者による個人防護具の着用、脱衣訓練



※訓練記録動画は関係機関にYoutubeで限定配信
(12/5～1/31 590回視聴)